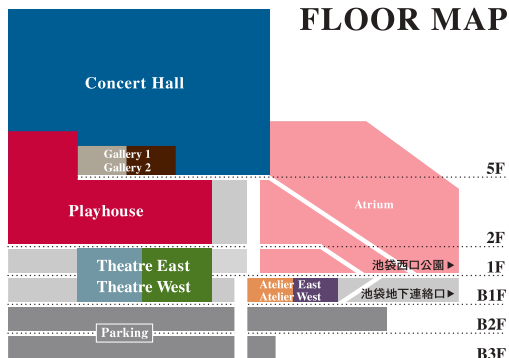




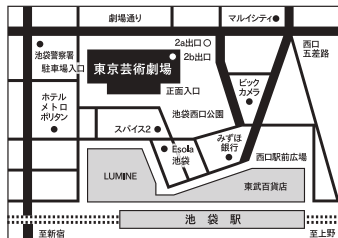
COVER PHOTO

東京芸術劇場
プレイハウス 客席壁面東京
芸術
劇場Tokyo
Metropolitan
Theatre

1F 東京芸術劇場ボックスオフィス
(チケット・総合案内カウンター)
| 予約 | **0570-010-296**
| お問合せ | (休館日を除く10:00~19:00)

5F 託児サービス
東京芸術劇場で公演ご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)
HITOWAキャリアサポート株式会社 わらべうた
| お問合せ | **0120-415-306**
(平日9:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場
| 利用料金 | 300円/30分
| 営業時間 | 7:00~24:00
| お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
| 開館時間 | 9:00~22:00 (休館日も除く)
| お問合せ | **03-5391-2111**
JR. 東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.27 2019年4・5・6月号
《編集・発行》東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）《編集・デザイン》COM Works 《印刷》（株）技芸堂

平成31年4月1日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.27 2019
4.5.6.

特集・PICKUP

2019-20
音楽シーズンプログラム

NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

読売日本交響楽団
土曜・日曜マチネーシリーズ ほか

TACT FESTIVAL 2019

芸劇dance ローザス
「A LOVE Supreme~至上の愛」
「バッハ無伴奏チェロ組曲」

韓国ナショナル・シアターカンパニー
「ボッコちゃん
~星新一 ショートショートセレクション~」

演出:熊林弘高
「お気に召すまま」

中国国家話劇院
「リチャード三世」

「K.テンペスト2019」 ほか

CALENDAR

4月・5月・6月

池袋モンパルナス回遊美術館／
芸劇+まちがく ほか

響きあうアジア2019 ほか

INTERVIEW

東京芸術劇場芸術監督

野田秀樹

《東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名》東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社
住友生命保険相互会社
Bloomberg L.P.

キッコーマン株式会社
住友化学株式会社

.....

アサヒグループ食品株式会社
株式会社イープラス
ANAホールディングス株式会社
オルガノ株式会社
香山壽夫建築研究所
国際興業株式会社
株式会社サンシャインシティ
三精テクノロジー株式会社
サントリーホールディングス株式会社
株式会社ジェイアール東日本ビルディング

JXTGホールディングス株式会社
株式会社資生堂
西武鉄道株式会社
ソニー銀行株式会社
第一生命保険株式会社
大和証券株式会社
株式会社竹中工務店
多摩美術大学
株式会社帝国ホテル
株式会社TBSテレビ
株式会社テレビ朝日
株式会社テレ・ポーズ
東京地下鉄株式会社
東京臨海熱供給株式会社
東武鉄道株式会社
株式会社東武百貨店
凸版印刷三幸会

トヨタ自動車株式会社
西池袋熱供給株式会社
日本生命保険相互会社
日本電信電話株式会社
びあ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅
フジテック株式会社
株式会社フジテレビジョン
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)
ホテルメトロポリタン
株式会社松尾楽器商会
株式会社松田平田設計
株式会社松村電機製作所
丸茂電機株式会社
株式会社ミクシィ
三菱重工業株式会社
三菱地所株式会社

株式会社三菱UFJ銀行
ミュージックスタジオ・フォルテ
ヤマハサウンドシステム株式会社
有限会社ユーシーベンディング商会
養老乃瀧株式会社
読売新聞東京本社
立教大学
株式会社ルミネ 池袋店
レンゴー株式会社
株式会社ローソンエンタテインメント
株式会社WOWOW
渡邊建設株式会社

他 匿名5法人
2019年3月25日現在

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。事業調整係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2116

耳の快楽、音の饗宴、発見の喜び 2019年度 音楽公演 ラインナップ

お問合せ／東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (休館日を除く10～19時)

東京芸術劇場／〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分(駅地下通路2b出口直結) www.geigeki.jp/

今シーズンも東京芸術劇場を舞台に多彩な音楽公演が開かれる。 国内外のアーティストたちによる意欲的なプログラムがずらりと並ぶ。

迫力のサウンドを体験!名門オーケストラの競演

ヨーロッパからはふたつの名門オーケストラが来日する。スイス・ロマンロ管弦楽団を指揮するのは音楽監督のジョナサン・ノット。ノットは現在東京交響楽団の音楽監督としてセンセーショナルな成功を収めているが、スイス随一の名門楽団との共演では果たしてどんなサウンドを聴かせてくれるのだろうか。曲はマーラーの交響曲第6番「悲劇的」他。オーケストラの高度な機能性が求められる作品だけに、スリリングな高揚感にあふれた演奏を期待できそうだ。

フィルハーモニア管弦楽団は今回も首席指揮者エサ＝ベッカ・サロネンと来日する。これまで数々の名演を聴かせてくれた同コンビだが、今回もストラヴィンスキーの「火の鳥」や「春の祭典」、マーラーの交響曲第9番など、大編成の作品を中心に麗麗なサウンドを披露してくれることだろう。また、サロネンの自

作曲も楽しみだ。サロネンは2021年で同楽団を離れることが発表されているので、今回の来日公演はぜひ聴いておきたいところ。

井上道義指揮読売日本交響楽団は、マーラーの交響曲第3番を演奏する。昨年のマーラーの「千人の交響曲」に続き、今回も独唱と合唱を要する声楽入りの大作交響曲がとりあげられる。壮大なスケールで描かれる一種の自然賛歌と呼ぶべき傑作だ。

「NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇」では新時代のシンフォニック・ジャズを体験できる。ガーシュウィン以来、さまざまな音楽家たちがジャズの語法をオーケストラに取り入れてきたが、今回は主役となるのは21世紀のシンフォニック・ジャズ。ニューヨークを拠点に活躍するジャズ作曲家の挟間美帆による新作、ピアノ協奏曲第1番の世界初演に注目したい。ソリストは現在のジャズシーンを牽引する奇才ピアニスト、シャイ・マエストロ。原田慶太楼指揮東京フィルと共演する。まだだれも知らない新作に立ち会えるのは大きな喜びだ。

2019-20 東京芸術劇場・音楽シーズン・プログラム コンサートホール

ORCHESTRA

海外オーケストラシリーズ スイス・ロマンロ管弦楽団
2019年4月13日(土) 14:00開演
指揮:ジョナサン・ノット ヴァイオリン:辻彩奈 管弦楽:スイス・ロマンロ管弦楽団
曲目:メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 マーラー/交響曲第6番
料金:Ｓ席12,000円／Ａ席10,000円／Ｂ席8,000円／Ｃ席6,000円／Ｄ席4,000円／
SS席15,000円／高校生以下1,000円



NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇
2019年8月30日(金) 19:00開演
構成・作編曲:挟間美帆 指揮:原田慶太楼 ピアノ:シャイ・マエストロ
管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団
曲目:ジョージ・ガーシュウィン/「ガール・クレージー」序曲
クlaus・オガーマン/「シンフォニック・ダンス」から第1楽章、第3楽章
ヴィンス・メンドーサ/インプロンプチュ
レナード・バーンスタイン/「オン・ザ・タウン」から「3つのダンス・エピソード」
シャイ・マエストロ(挟間美帆編曲)/ザ・フォーガットン・ヴィレッジ
挟間美帆/ピアノ協奏曲第1番(東京芸術劇場委嘱作品・世界初演) ほか
料金:Ｓ席8,000円／Ａ席6,500円／Ｂ席5,000円／高校生以下1,000円 発売:4月27日(土)



読売日本交響楽団 2019年12月6日(金) 19:00開演
指揮:井上道義 メソソプラノ:池田香織
管弦楽:読売日本交響楽団 コーラス:首都圏音楽大学合同コース(予定)
曲目:マーラー/交響曲第3番
料金:Ｓ席6,500円／Ａ席5,500円／Ｂ席4,500円／
Ｃ席3,500円／Ｄ席2,500円／高校生以下1,000円 発売:6月22日(土)



OPERA

東京芸術劇場コンサートオペラvol.7
ビゼー/歌劇「ジャミレ」
ドビュッシー/カンタータ「放蕩息子」
※演奏会形式 日本語字幕原語上演
2019年10月26日(土) 14:00開演
指揮:佐藤正浩
出演:鳥木弥生(「ジャミレ」)、浜田理恵(「放蕩息子」) ほか
管弦楽:ザ・オペラ・バンド
料金:Ｓ席6,000円／Ａ席5,000円／Ｂ席4,000円 ほか
発売:6月1日(土)



東京芸術劇場シアターオペラvol.13
全国共同制作プロジェクト
ヴェルディ/歌劇「ラ・トラヴィアータ」
2020年2月22日(土) 14:00開演
指揮:ヘンリック・シェーファー 演出:矢内原美邦
管弦楽:読売日本交響楽団



NHK交響楽団 2019年12月14日(土) 14:00開演
指揮:パブロ・エラス・カサド ピアノ:ダニエル・ハリートノフ 管弦楽:NHK交響楽団
曲目:リムスキー＝コルサコフ/スペイン奇想曲 リスト/ピアノ協奏曲 第1番
チャイコフスキー/交響曲第1番「冬の日の幻想」
料金:Ｓ席7,000円／Ａ席6,000円／Ｂ席5,000円／
Ｃ席4,000円／Ｄ席3,000円／Ｅ席1,500円／高校生以下1,000円 発売:6月29日(土)



海外オーケストラシリーズ フィルハーモニア管弦楽団
2020年1月23日(木)・28日(火)・29日(水) 各回 19:00開演
指揮:エサ＝ベッカ・サロネン ヴァイオリン:庄司紗矢香
チェロ:トゥルルス・モルク 管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団
曲目:[1月23日(木)] ラヴェル/組曲「クープランの墓」
サロネン/チェロ協奏曲*日本初演 ※トゥルルス・モルク(Vc)
ストラヴィンスキー/バレエ音楽「春の祭典」
[1月28日(火)] シベリウス/交響詩「大洋の女神」 Op.73 ショスタコヴィチ/ヴァイオリン協奏曲第1番 ※庄司紗矢香(Vn)
ストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」
[1月29日(水)] サロネン/ボルックス マーラー/交響曲第9番
発売:3公演セット券 4月20日(土)～5月10日(金)／一般販売 5月25日(土)



読売日本交響楽団 土曜・日曜マチネーシリーズ 各回 14:00開演
第216回 2019年 4月27日(土)・28日(日) 第221回 2019年 10月19日(土)・20日(日)
第217回 2019年 5月18日(土)・19日(日) 第222回 2019年 11月23日(土)・24日(日)
第218回 2019年 7月 6日(土)・ 7日(日) 第223回 2019年 12月21日(土)・22日(日)
第219回 2019年 8月24日(土)・25日(日) 第224回 2020年 2月 1日(土)・ 2日(日)
第220回 2019年 9月21日(土)・22日(日) 第225回 2020年 3月14日(土)・15日(日)
主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

FESTIVAL

TACT FESTIVAL2019
マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム～リズム!!リズム!!リズム!!～
ティーンズのためのクラシック講座 2019年5月5日(日・祝) 14:00開演
指揮:鈴木優人(マサト先生) 語り:温水洋一* 管弦楽:読売日本交響楽団
曲目:久石譲/オーケストラストーリー* となりのトトロ* ライヒ/オーケストラのための3つの楽章 ラヴェル/ボレロ
料金:高校生以下1,000円／一般3,500円 ※4歳以上入場可、お1人様1枚チケットをご購入ください。
ベビビ・ミュージックサロン～赤ちゃんを楽しむ本格的なパロッド音楽～
2019年5月4日(土・祝)～6日(月・休) 10:00開演 会場:ギャラリー1
ソプラノ:藤崎美苗 フルート:鶴田洋子 チェンバロ:鈴木優人 料金:【全席自由】未就学児:500円/小学生以上:2,000円
芸劇ウィンド・オーケストラ・アカデミー アトリウムコンサート
2019年5月4日(土・祝)～6日(月・休) 11:00～11:30 会場:アトリウム 料金:無料



ボンクリ・フェス2019 “Born Creative” Festival 2019

2019年9月28日(土)
アーティストック・ディレクター:藤倉大



『ラ・トラヴィアータ』で矢内原美邦がオペラを初演出

オペラの分野では興味深い公演がふたつ並ぶ。気鋭の演出家を起用することで知られる「東京芸術劇場シアターオペラシリーズ」では、矢内原美邦を演出に迎えて、ヴェルディの『ラ・トラヴィアータ』(椿姫)を上演する。「椿姫」といえば名作中の名作。パリ社交界の高級娼婦が真の愛に目覚め、やがて悲しみのうちに病に倒れるまでが描かれる。「乾杯の歌」をはじめ、名曲がふんだんに盛り込まれている。ダンスや演劇の分野で活躍する矢内原美邦は、今回がオペラ初挑戦。くりかえし上演されてきた人気作を、新鮮な切り口でアップデートしてくれるのではないだろうか。演奏はヘンリック・シェーファー指揮読売日本交響楽団。

東京芸術劇場コンサートオペラvol.7は、コンサート形式(照明あり)ならではの貴重な作品が演奏されるのが魅力。ビゼーの『ジャミレ』とドビュッシーの『放蕩息子』という二本立ては意表を突いている。『ジャミレ』は初演が大失敗に終わったことから、忘れられた作品となってしまうていたが、近年再評価の兆しがかえるオリエンタル趣味の一幕物のオペラ。一方、『放蕩息子』は若き日のドビュッシーが書いたカンタータ。フランスの作曲家の登竜門であ

WIND

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2019
2019年 9月29日(日) 14:00開演 東京吹奏楽団
2019年10月 5日(土) 14:00開演 東京佼成ウインドオーケストラ
2019年10月31日(木) 19:00開演 ブラック・ダイク・バンド
主催:一般社団法人東京吹奏楽団
主催:東京佼成ウインドオーケストラ
主催:ジャパン・アーツ

芸劇ウィンド・オーケストラ・アカデミー 第6回演奏会
2020年2月29日(土) 15:00開演
吹奏楽:芸劇ウィンド・オーケストラ・アカデミー 東京佼成ウインドオーケストラ
料金:【全席指定】2,000円

ORGAN

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.132 2019年 5月23日(木) オルガン:都築由理江 発売:3月20日(水)
Vol.133 2019年 7月18日(木) オルガン:小野なおみ 発売:5月29日(水)
Vol.134 2019年 9月26日(木) オルガン:安杏菜 発売:7月24日(水)
Vol.135 2019年11月14日(木) オルガン:森亮子 発売:10月2日(水)
Vol.136 2020年 1月16日(木) オルガン:川越聡子 発売:11月20日(水)
Vol.137 2020年 3月12日(木) オルガン:平井靖子 発売:2020年1月22日(水)
各回 12:15開演
料金:【全席自由】500円



ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.26 2019年 4月18日(木) オルガン:湯口依子 発売:2月20日(水)
Vol.27 2019年 6月20日(木) オルガン:小林英之 発売:4月24日(水)
Vol.28 2019年 8月29日(木) オルガン:原田靖子 発売:6月26日(水)
Vol.29 2019年10月17日(木) オルガン:フロリアン・バギツチュ 発売:9月4日(水)
Vol.30 2020年 2月13日(木) オルガン:新山恵理 発売:12月25日(水)
各回 19:30開演
料金:【全席指定】1,000円



パイプオルガン講座
第77回 芸劇のオルガンを弾こう! 2019年5月27日(月) 料金:各回2,000円
第78回 夏休み・特別編 芸劇のオルガンをたっぷり楽しもう 2019年8月1日(木)
◆コンサート 13:00開演 料金:【全席自由】500円(3歳以上入場可)
◆こうさく 14:00開演 料金:1,000円(材料費込・4年生以上対象) 発売:6月5日(水)

第79回 2019年 9月26日(木) -音づくりのひみつVol.1- ～フランス・シンフォニック～
第80回 2019年11月14日(木) -音づくりのひみつVol.2- ～フランス古典(パロッド)～
第81回 2020年 1月16日(木) -音づくりのひみつVol.3- ～ドイツ～
各回 14:00開演 料金:各回1,000円(定員60名) 発売:7月31日(水)

るローマ賞を獲得した記念すべき作品だが、実演で聴く機会は少ない。キャストは鳥木弥生、浜田理恵、佐藤正浩指揮ザ・オペラ・バンド他。隠れた傑作に出会うチャンスだ。

創造性の火花が散る! ボンクリ・フェス2019

今年も「ボンクリ・フェス Born Creative Festival」が秋に開催される。ボンクリ(ボーン・クリエイティブ)とは、人は生まれながらにして創造的という意味。大人になっても子供のような創造性を持ったアーティストたちによる新しい音楽作品を、大人も子供もいっしょに楽しもうというのがこの音楽祭のコンセプトだ。アーティストック・ディレクターは作曲家の藤倉大。ロンドンを拠点に活動し、世界各地から新作の依頼が相次ぐ売れっ子だ。

新しい響きをだれもが気軽に体験できるように工夫が凝らされているのが、この音楽祭の魅力。今回も多彩なアーティストたちが招かれることだろう。未知の音楽との出会いはいつだって刺激的なもの。忘れがたい体験が待っている。

文:飯尾洋一(音楽ジャーナリスト)

2019年3月1日現在(内容は変更となる場合があります)

COLLEGE OF MUSIC FESTIVAL

第10回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2019
各回 15:00開演
■東京芸術劇場 コンサートホール
2019年11月30日(土)
昭和音楽大学(指揮:渡邉一正) 東邦音楽大学(指揮:堀田茂夫) 桐朋学園大学(指揮:尾高忠明)
■ミューザ川崎シンフォニーホール
2019年11月23日(土・祝)
上野学園大学(指揮:清水醒輝) 国立音楽大学(指揮:澤・メルフル)
2019年12月 1日(日)
洗足学園音楽大学(指揮:秋山和慶) 東京音楽大学(指揮:石崎真弥奈) 武蔵野音楽大学(指揮:飯守泰次郎)
料金:【全席指定】1回券1,000円/通し券2,250円 発売:7月6日(土)

第9回音楽大学フェスティバル・オーケストラ

■ミューザ川崎シンフォニーホール
2020年3月28日(土) 15:00開演
■東京芸術劇場 コンサートホール
2020年3月29日(日) 15:00開演
指揮:井上道義 管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ
曲目:ストラヴィンスキー/バレエ音楽「春の祭典」 ほか
料金:Ｓ席2,000円／Ａ席1,500円 発売:11月9日(土)

芸劇提携事業

芸劇ランチコンサートシリーズ
「清水和音の名曲ラウンジ」全6回
第18回 2019年4月24日(水)
第19回 2019年6月19日(水)
第20回 2019年8月28日(水)
第21回 2019年10月23日(水)
第22回 2019年12月11日(水)
第23回 2020年 2月12日(水)
各回 11:00開演
出演:清水和音 アンサンブル・サンセリテ
料金:【全席指定】2,400円(1公演につき)
主催:KAJIMOTO

仲道郁代
ピアノ・フェスティバルVol.2
2019年7月14日(日) 16:00開演
ピアノ:仲道郁代、横山幸雄、菊池洋子、
貴川風、松田華音、藤田真央
料金:Ｓ席7,000円／Ａ席6,000円／Ｂ席5,000円
主催:ジャパン・アーツ

前橋汀子
デライト・コンサートVol.7
2019年10月29日(火) 11:30開演
ヴァイオリン:前橋汀子 ほか
料金:【全席指定】2,500円
主催:KAJIMOTO

ポーランド芸術祭2019
ガラ・コンサート
2019年11月2日(土)
主催:ジャパン・アーツ

ヤニック＝ネゼ・セガン指揮
フィラデルフィア管弦楽団
2019年11月5日(火)
主催:KAJIMOTO

NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

構成・作編曲：挾間美帆

インタビュー 挾間美帆

“N響JAZZ”の4年を彩った名曲の先に、
気鋭のジャズ作曲家がみつめる
“NEO-SYMPHONIC JAZZ”の地平とは？
オーケストラ・ジャズ新旧の名作と、
新作ピアノ協奏曲で織りなす夏に向けて、
構成・作編曲の挾間美帆に話を聞いた。

ニューヨーク在住のジャズ・コンポーザー挾間美帆が、自身の室内楽団m_unitの新作ライブで今年2月に来日した。その折に行われた“NEO-SYMPHONIC JAZZ”の制作ミーティングの直後、出来立てのセットリストを前に、夏のコンサートへの展望を聞いた。彼女が練りに練ったというプログラムは、“N響JAZZ”でもいわば顔役となってきたガーシュウィンとバーンスタインから、オーケストラによるジャズ音楽のその後の進展を辿った先に、自身の新作「ピアノ協奏曲第1番」までを見渡すもの。イスラエル出身のシャイ・マエストロがソリストとして加わり、さらに彼の自作も披露する豪勢なメニューは、さまざまな世代の聴き手の興味を引くだろう。

「この“NEO-SYMPHONIC JAZZ”に取り組みたいと思ったいちばんのきっかけがガーシュウィンの『ラプソディ・イン・ブルー』。名曲だと思うし、クラシック音楽ファンにも人気のある作品です。でも、初演からもうすぐ100年が経つわけで、管弦楽団が演奏するジャズ音楽の認識が一般にそこで止まっているのが、ジャズ・コンポーザーの自分としては本意だったんですね。オーケストラが演奏するシンフォニック・ジャズが絶滅したわけではない。それをもっともっと演奏して、知ってもらい、親しんでもらえるきっかけをつくってほしいな、というのは私の人生をかけての夢だったのです。新作は『ラプソディ・イン・ブルー』に代わるなにかを創りたいというのが最初の考えでしたから、シンフォニーではなくピアノ・コンチェルトにしよう。シャイ・マエストロは私と年代も近いし、クラシックの音楽にも理解があって、なおかつ幅広い即興音楽に対応できる人なので、彼に白羽の矢を立てました」

挾間美帆はクラシックの作曲を専攻して国立音楽大学を卒業後、ニューヨークのマンハッタン音楽院でジャズを専攻した。この大学院時代の2年間、ジャズの作曲を専門的に学び、以降“ジャズ作曲家”として国際的に活動している。

「やはり自分のルーツはクラシックで、もともと頭に鳴る音楽が管弦楽なんですよ。自分のバンドも13人のチェンバー・アンサンブルですし、そうした活動をするなかで、やっぱり管弦楽団といっしょに音楽つくりたいなあ、という気持ちも大きくなってきて。クラシック音楽とジャズ音楽のブリッジのようなかたちにいつかになりたい、と思うようになったのは2、3年前からですね。ジャズは他の文化要素と融合しながら発展してきた音楽ジャンルで、今も多様化し続けている。私にとっては、クラシック音楽と融合したジャズがいちばん自然と自分に合う気がするんです。私のオーケストレーションのバイブルはラヴェルとレスピーギの『ローマ三部作』ですし、私にとってのオーケストラはまず

色彩感だと思っているので、このコンチェルトでもそういう響きが演出できたらいいと考えています」

彼女のオーケストラ作品や編曲作品を多く手がけてきた東京フィルハーモニー交響楽団が、アメリカを本拠に活躍する原田慶太楼の指揮で演奏を担う。時代を映す名作を織りなす選曲も、挾間らしい鮮やかなパースペクティブを示している。

「第一に“N響JAZZ”の正統派レパートリーを受けて、まずはガーシュウィンとバーンスタインの名作を。そこに、私にとっては“シンフォニック・ジャズの代名詞”とも言えるクラウス・オガーマンの『シンフォニック・ダンス』を絶対に入れたかった。さらに現代のヴィンス・メンドーサを加えて、新旧を象徴する作曲家を揃えました。シャイ・マエストロも私も同年代ですけれど、『これがいまの30代が考えるシンフォニック・ジャズだよ！ NEOだよ！』というステートメントとして、私は今回のプログラムを考えました。いっぽう、ガーシュウィンやバーンスタインに親しまれる方にも、シャイや私の音楽を知ってほしい。事件のように起きることを目撃するのがジャズの魅力だと私は思いますから」

取材・文：青澤隆明（音楽評論）
写真：渡部孝弘

8月30日(金) 19:00開演 コンサートホール 詳細はHPへ

構成・作編曲：挾間美帆

指揮：原田慶太楼

ピアノ：シャイ・マエストロ

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

曲目：ジョージ・ガーシュウィン／『ガール・フレージー』序曲

クラウス・オガーマン／『シンフォニック・ダンス』から第1楽章、第3楽章

ヴィンス・メンドーサ／インプロンプチュ

レナード・バーンスタイン／『オン・ザ・タウン』から「3つのダンス・エピソード」

シャイ・マエストロ（挾間美帆編曲）／ザ・フォーガットン・ヴィレージ ほか

挾間美帆／ピアノ協奏曲第1番（東京芸術劇場委嘱作品・世界初演）



原田慶太楼

©Claudia Herschner



シャイ・マエストロ

©Gabriel Baharia

芸劇ランチコンサート ～清水和音の名曲ラウンジ～/～名曲リサイタル・サロン～

2019年4月～2020年3月 各回11:00開演 コンサートホール



清水和音

萩原麻未

阪田知樹

～清水和音の名曲ラウンジ～

第18回 4月24日(水)「ヴィヴァルディの四季」 詳細はP12へ

第19回 6月19日(水)「ドヴォルザークの楽しみ」 詳細はP16へ

第20回 8月28日(水)「バッハ《第1番》大集合」 詳細はHPへ

ほか10月・12月・2020年2月公演あり

～名曲リサイタル・サロン～ ナビゲーター：八塩圭子

第1回 5月22日(水)「清水和音 ピアノ・リサイタル」 詳細はP14へ

第2回 7月17日(水)「萩原麻未 ピアノ・リサイタル」 詳細はHPへ

第3回 9月25日(水)「阪田知樹 ピアノ・リサイタル」 詳細はHPへ

ほか11月・2020年1月・3月公演あり

【お問合せ】サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

読売日本交響楽団 土曜・日曜マチネーシリーズ

2019年4月～2020年3月[全20回(土日各10回)] 各回14:00開演 コンサートホール



4月27日(土)・28日(日) 詳細はP12へ

指揮：コルネリウス・マイスター

チェロ：上野通明

曲目：カサド／チェロ協奏曲

ムソルグスキー（ラヴェル編）／組曲「展覧会の絵」ほか

チケット好評発売中

ほか8月、9月、10月、11月、12月、2020年2月、3月公演あり

5月18日(土)・19日(日) 詳細はP13へ

指揮：セバスティアン・ヴァイグレ

ピアノ：岡田奏

曲目：モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番

ブラームス／交響曲第4番 ほか

チケット好評発売中

7月6日(土)・7日(日) 詳細はHPへ

指揮：小林研一郎

クラリネット：アンドレアス・オッテンザマー

曲目：ウェーバー／クラリネット協奏曲第1番

ドヴォルザーク／交響曲第8番 ほか

一般発売：4月13日(土)

【お問合せ】読響チケットセンター 0570-00-4390 https://yomikyo.or.jp/

仲道郁代 ピアノ・フェスティバル Vol.2

7月14日(日) 16:00開演／15:15～6人のピアニスト クロストーク コンサートホール

詳細はHPへ

国際派ピアニスト6名による“5台60指”の熱演！

ピアノという楽器の魅力を美しく華麗な演奏、魅力的なトークで多くの聴衆に届けているピアニスト、仲道郁代。彼女が「ピアノの楽しさをもっと伝えたい」という熱い想いで昨年よりスタートした「仲道郁代ピアノ・フェスティバル」が第2回を迎える。今回は2台ピアノと5台ピアノの2部から成る大迫力のコンサートを予定。仲道を筆頭に国際的な活躍を続けるピアニスト6名が集い、白熱の共演を繰り広げる。それぞれの個性と緻密なやりとりを堪能できる2台ピアノによる演奏はもちろんだが、やはり第2部の5台ピアノに期待が膨らむ。合計60本の指が奏でる大迫力のサウンドは、“楽器の王様”ピアノの実力を最大限に発揮し、フルオーケストラの音色を届けてくれることだろう。演奏者の一人である横山幸雄の作品「カルメンの誘惑と幻想」にも注目したい。

文：長井進之介（ピアニスト/音楽ライター）

ピアノ：仲道郁代、横山幸雄、菊池洋子、貫川風、松田華音、藤田真央

【お問合せ】ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

曲目：第1部 2台ピアノ モーツァルト／2台のピアノのためのソナタ 二長調 K.448 ほか

(2019年4月1日以降 0570-00-1212)

第2部 5台ピアノ 横山幸雄／カルメンの誘惑と幻想～5台のピアノのための ほか

1927 「獣よ、子供よ、街に出よ!」

英語上演・日本語字幕付

英国気鋭のカンパニー1927が初来日!

演劇?それともアニメーション?

映像、パフォーマンス、ライブ・ミュージックが

融合した、これまで見たこともなかった作品がついに日本上陸!



全世界で大絶賛を受ける英国発のカンパニー1927

「アレクサンドル・ロトチェンコがティム・バートンと出会ったとしたら?チャールズ・ディケンズがフリッツ・ラングと出会ったとしたら?20世紀初期のサイレント・ムービーが21世紀のグラフィック・ノベルと出会ったとしたら?」

ガーディアン紙の劇評の一節だが、想像してみてほしい。思い浮かんだそのイメージが、1927が生み出す作品の世界観だ。

1927は2005年に演出家、劇作家でありパフォーマーであるスザンヌ・アンドレードと、アニメーターでありイラストレーターであるポール・バリットにより設立された。

カンパニーの第1作である「Between the Devil and the Deep Blue Sea」がエディンバラ・フェスティバル・フリンジで絶賛を受け、複数の賞を受賞。ロンドンで2シーズン上演され、3年にわたりイギリス及び、ワールドツアーを行った、と言えばその魅力と実力の程が想像できるだろう。

その後も演劇からオペラまで挑戦的な作品を生み出し続け、観客数は今や延べ75万人以上。作品は5大陸、35か国で上演されている。

不気味でカワイイ=「こわカワイイ」独自の世界観

今回、プレイハウスで上演されるのはカンパニーの2作目である「獣よ、子供よ、街に出よ!」。2010年に初演された作品のリバイバル上演となる。1927の作品の特徴はアニメーションや映像と、役者によるパフォーマンス、そしてライブ・ミュージックを融合させていることだ。1作目で確立された

この特徴は、本作でも遺憾なく発揮されている。

舞台上のスクリーンに投影されるティム・バートンのような不気味さと可愛さを兼ね備えた白黒のアニメーション。それを背景に動き回る、顔を白塗りにしたパフォーマー。両者の動きはピッタリと合う。さらに生演奏の音楽や歌も加わると、全てが一体となって「こわカワイイ」独特の世界が立ち上がる。

イブニング・スタンダード紙は「演劇を好きな人が今まで見たことがないような作品に出会い、上演開始後すぐに心を奪われてしまうという経験はなかなかない。1927はそんな素晴らしい感動を与えてくれた。」と本作を評したが、演劇好きでなくともアニメーションや白黒映画、ダークな物語が好きであれば、心惹かれるものがあるだろう。

ストーリーと現実世界をつなげる仕掛け

作品の舞台は美しくて豊かな街の外れにあるバイユー・マンション。汚くて臭くていかげわしい安アパートは、街の悩みの種。そこにある夜遅く、アグネス・イープスとその娘のイービーがやってくる。希望のないバイユー・マンションに訪れるふたりは希望のサインか、はたまた恐怖の始まりなのか…。

ブラックユーモアが散りばめられたストーリーは、どこかの国のただのおとぎ話としても十分楽しめる。だが、最後の仕掛けがそれを許さない。「アラブの春」の頃に中東で上演した際には、本作品に共感した観客が、大いに感謝したという。不気味な絵本のようなワンダーランドに誘い込まれる私たちも、我が身と周囲を振り返りたくなるかもしれない。

文:佐月麻里

マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム ~リズム!リズム!リズム!~

ティーンズのためのクラシック講座

子供も大人も楽しめる! トトロ、ライヒ、ボレロ!

多彩な活躍を見せる指揮者、鈴木優人(マサト先生)の指揮・司会、
読売日本交響楽団の演奏による

タクト・フェスティバル初のオーケストラ公演が開催決定!

リズムにちなんだ3曲でクラシック音楽の魅力をお届けします。



イラスト©加藤木麻莉

—— マサト先生、今回の企画意図を教えてください。

マサト先生 「音楽なんて、自分で好きなものを聴けばよい!」という思いも持っていて、正直どのような曲を選ぶか迷いました。そこで、僕が学生時代に聴きたかったものを3つ並べました。「クラシック音楽ってつまらない」と思っている若い人もいますが、今回は古臭くなくて楽しめるものになっています。テーマは「リズム」。ハーモニー、メロディと共に音楽を作る3つの要素の一つです。僕らは身体に脈拍というリズムを常に持っているように、歩く時や普段の生活においても大切な要素です。

—— 1曲目は、久石譲「オーケストラ・ストーリーズ」となりのトトロ。

マサト先生 まずは、誰もが知っている「トトロ」の曲を、フル・オーケストラで聴いていただきます。僕も小学生のころ、映画「となりのトトロ」を楽しみました。世代を超えて愛されているアニメです。田舎の山奥に引っ越してくる話ですが、情景描写における音楽の力がとても大きい。久石さんは、分かりやすい音楽を書いています。大変独創的でもあります。ナレーションが入り、最初に楽器紹介があるので、オーケストラ入門にもぴったりです。テレビなどでも活躍している温水洋一さんの語りにもご注目下さい。

—— 次に、スティーヴ・ライヒ「オーケストラのための3つの楽章」を演奏。

マサト先生 ライヒは現在82歳のアメリカの現代作曲家。代表作「ドラミング」など、パターン化された音型を反復させる“ミニマル音楽”の先駆者と

して知られています。僕はティーン・エイジャーの頃、ライヒの音楽に出会い「これがクラシック音楽と言えるのか?」とショックを受けました。今の若い人たちにもショックを与えられる曲だと思います。「3つの楽章」は1986年に初演された曲で、通常のオーケストラの配置と異なるのが特徴です。ピアノと打楽器が真ん中に置かれ、オーケストラの中での楽器間のヒエラルキーが変えられています。通常の配置では弦楽器が中心ですが、この曲では中央に置かれた打楽器やピアノが重視されます。これは価値観のパラダイム・シフトです。

—— 3曲目はラヴェル作曲の「ボレロ」。

マサト先生 小太鼓が同じリズムを169回繰り返すのが特徴です。そして2種類のメロディのみで作られています。ラヴェル以前の音楽史で、このような構成の曲は存在しなかったので、画期的な作品です。楽器が次々に移り変わり、オーケストラの音色の変化が際立ちます。ラヴェル特有の均整の取れた様式美も感じられると思います。

—— 最後にお客様にメッセージを

マサト先生 多感なティーン・エイジャーの皆さんには、この3曲で学校での音楽の授業とは違う体験をしていただけるはずです。この機会に「自分の知らないもの」にチャレンジしてほしい。何が好きになるかは自由。皆さんのフリーダムを応援する気持ちで演奏します。皆さん、聴くなら今ですよ!

1927
「獣よ、子供よ、街に出よ!」
5月4日(土・祝)～6日(月・休)
16:00開演 プレイハウス

詳細はP13へ



マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム
～リズム!リズム!リズム!～
ティーンズのためのクラシック講座

5月5日(日・祝) 14:00開演 コンサートホール

(プログラム) 久石譲／オーケストラストーリーズ となりのトトロ
スティーヴ・ライヒ／オーケストラのための3つの楽章
ラヴェル／ボレロ

詳細はP13へ



ベビー・ミュージックサロン
～赤ちゃんを楽しむ本格的なバロック音楽～

5月4日(土・祝)～6日(月・休) 10:00開演

ギャラリー1

詳細はP17へ



イラスト©加藤木麻莉

WONDER WATER +
Rinne + MASK
サーカスとダンス

5月4日(土・祝)～6日(月・休)

ロワー広場 無料

詳細はHPへ



©石川直樹

ひびのこづえプロデュース
「いきものブローチ作り」

5月4日(土・祝)～6日(月・休)

11:00～17:00

アトリエイスト

詳細はP17へ



田中泯
『場踊り』

5月5日(日・祝)・6日(月・休)

12:00～13:00

劇場前広場 無料

詳細はHPへ



©横山マサト

『ゆるゆる休憩所 モモンガ・ハウス』
5月4日(土・祝)～6日(月・休)
11:00～17:00

アトリエウエスト 無料

詳細はP17へ



芸劇ウインド・オーケストラ・
アカデミー
アトリウムコンサート

5月4日(土・祝)～6日(月・休)

11:00～11:30

アトリウム 無料

詳細はHPへ



GEIKEI
WIND
ORCHESTRA
ACADEMY



「見えないもの」に触れる―敬虔な祈りのようなダンス

ダンスと音楽の関係を探求する振付家

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルの新たな挑戦。

ジャズとクラシックに振り付けられた

ローザスの2作品が、待望の来日公演を果たす。

「コルトレーン／黄金のカルテット」との時を超えたセッション

<A Love Supreme～至上の愛>は、1964年に録音されたサックス奏者ジョン・コルトレーンの代表的アルバムである。コルトレーンの他、演奏に当たったのはピアニストのマッコイ・タイナー、ベース奏者ジミー・ギャリソン、そしてドラマーのエルヴィン・ジョーンズ。当時「黄金のカルテット」と称されたこの4人が神への愛をテーマに全身全霊で臨んだ演奏に、ローザスの4人の男性ダンサーが挑む。

冒頭、装飾を排した何もない舞台に彼らは現れ、静寂の中で踊り始める。やがてそこに、音楽が満たされるが、それはただの音楽ではない。呪文のように「A Love Supreme…」と呟く4人の奏者達の声と共に、半世紀以上前の録音スタジオに満ちていたであろう異様な熱気と強度がダンサーと観客の身体に響き渡る。ダンサーたちは、各楽器の音のアクセント、リズム、強弱など演奏の微細なニュアンスに感応しながら、身体という楽器によって、このセッションに加わる。不思議なのは、所々4人のダンサーが主体的な意図や個人を越えて、『至上の愛』を貫く見えない力に「踊らされて」いるようにも見えることである。ケースマイケルは「ある部分では、動きは意識的に選ばれているけれど、その他の動きは彼らの中に『起こる』のです」と言う。

コルトレーンの楽曲《至上の愛》は<承認><決意><追求><賛美>という4つのパートから成り立ち、それ自体一つのドラマツルギーを内包している。ダンサーたちはこの曲の進行につれて、極度の集中状態に到達しているように見える。そのプロセスを見る時、《至上の愛》をこれまで聞いたことのある者にとっても、この演奏が全く別様に聞こえてくるのではないだろうか。敬虔な祈りのようにも叫びのようにも聞こえるコルトレーンのサックスの音色に共鳴しながら展開するダンスは圧巻である。

「A Love Supreme～至上の愛」 詳細はP13へ
5月9日(木)～12日(日) プレイハウス

振付:サルヴァ・サンチス／アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
音楽:ジョン・コルトレーン<A Love Supreme～至上の愛>
出演:ローザス

「聞こえない音」と「見えない死」に触れる共同作業

『我ら人生のただ中にある／バッハ無伴奏チェロ組曲』はローザスと世界的チェロ奏者ジャン＝ギアン・ケラスとのコラボレーション作品である。世界中の一流ホールから引く手あまたのケラスの生演奏が聴けるというだけでも貴重であるが、ケースマイケル自身を含むローザスの5人のダンサーがその音楽をどのように解釈して踊るのが見どころである。

ケラスは音楽を緻密に解釈したケースマイケルの作品に出会い、ダンスに対する認識を一新したと言う。「今まで見てきたダンス作品が大抵魅力的なものに思えなかった理由は、音楽と振付の間に満足できるようなつながりが見出せなかったからだと思う。けれどケースマイケルは作曲家のような方法でダンスを創っていて驚かされた」とケラスは振り返る。対してケースマイケルは「ケラスの音楽にアプローチする時にはいつも慎重深さと畏れを抱いています。彼ほど抽象的な感覚を具体化することに成功している音楽家は見当たりません」と述べている。このように、互いの深いリスペクトに基づいてこの作品の創作は進行し、2017年に初演を迎えた。

ケースマイケルはこれまでも『ツァイトウング』(2008)、『パルティータ2』(2013)などバッハの楽曲に振り付けることに挑んできたが、本作におけるバッハの解釈に関しては、バッハを偏愛するケラスから大いに影響を受けているようだ。稽古場でケラスが「無伴奏チェロ組曲のメロディの下には「聞こえないベースライン」が隠れている」と言った時、ケースマイケルは即座にそれを紙に書き出すように求めたというエピソードがある。本作では、「聞こえない音」がダンスによって露わになる瞬間が立ち現れてくることだろう。

ところで、本作のタイトルは、中世キリスト教のラテン語の賛美歌をマルティン・ルターがドイツ語に翻訳した歌詞から取られている。敢えて言い落としたのではないかと推測するが、本来「我ら人生のただ中にある」の後には「死に取り囲まれている」と言う言葉が続く。本作では、「聞こえない音」と共に、「見えない死」の深淵を感じさせる生の飛翔が見られるのではないかと期待している。

文:越智雄磨

「我ら人生のただ中にある／
バッハ無伴奏チェロ組曲」 詳細はP14へ
5月18日(土)・19日(日) プレイハウス

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
チェロ:ジャン＝ギアン・ケラス
音楽:J.S.バッハ<無伴奏チェロ組曲> 出演:ローザス



アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル ©Hugo Glendinning

「ボッコちゃん
～星新一 ショートショートセレクション～」
韓国語上演・日本語字幕付
脚色・演出:チョン・インチョル

舞台に広がる 星新一の世界

韓国現代演劇を牽引する、

韓国ナショナル・シアターカンパニー初上陸。

星新一のショートショートを

カンパニーの力を集結させ舞台化。

1950年に旗揚げした韓国ナショナル・シアターカンパニーは2010年、それまで本拠地としていた韓国ナショナル・シアターから独立する際に、運営や制作体制を刷新し、明洞芸術劇場(2015年)、ペクソンヒ・チャンミノ劇場、小劇場パンの3劇場で「ナショナル」という名にふさわしい作品を次々と作り出し、今や韓国でもっとも注目を浴びている。今まで中国、フランス、イギリスで公演を行ってきたが、いよいよ「ボッコちゃん～星新一 ショートショートセレクション～」で初めて日本での上演を果たす。

日本の方の多くはタイトルを聞くだけで原作者の星新一を思い出すと思うが、韓国で星の作品が紹介されたのは、比較的最近のことだ。初めての韓国語版出版は1998年だったものの、広く知られるようになったのは星の著作が33冊のシリーズとして出版され始めた2008年。書かれた時代を連想させない現代的、かつSF的な発想やメッセージ性で徐々に読者が増え、マニアとも呼べる読者層も生み出している。

私たちは私たちを徐々に死なせているのではないか

韓国ナショナル・シアターカンパニーの「ボッコちゃん～星新一 ショートショートセレクション～」は演出のチョン・インチョルの提案から始まった。派手な演出手法よりはテキストへの真面目で丁寧な取り組み、個々の役者が持っているカラーを引き出す才能、各デザイナーの卓越した選択と共同作業など

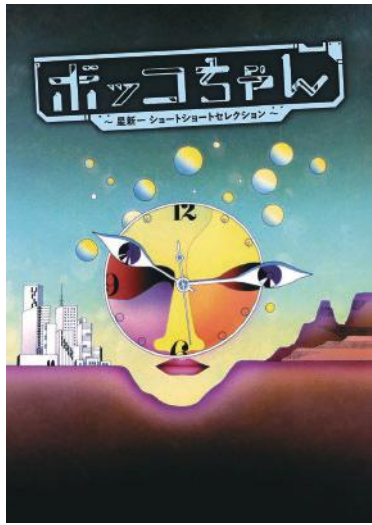


イラスト:原画、真鍋博「ミステリアマジン 1979年1月号/朝日新聞」表紙、(原画) 豊隆閣美術研究所蔵

でその実力を見せてきたチョン・インチョルは、2015年頃、星の作品に出会ってすぐに一目惚れし、いつかはと舞台化のアイディアを温めてきたという。彼は多様な時代・空間を行き来する星の多くの作品から「私たちは結局、直接・間接的に誰かを死なせている」という共通のメッセージを持つ6本のショートショートを選び、舞台化を実現した(そういうコンセプトでソウル初演時のタイトルは「私は殺人者です」となった)。



©Nah Seung-yeol, provided by National Theater Company of Korea

天才作家、誠実な演出、斬新な振付、多彩な役者の組み合わせ

初演の舞台からまた更新された「ボッコちゃん～星新一 ショートショートセレクション～」は6本のショートショート、「ボッコちゃん」「知人たち」「おーい、でてこーい」「鏡」「宇宙の男たち」「ひとつの装置」の順番に繰り広げられるオムニバス形式をとっている。原作の言葉や良さを最大限に生かしながらも、それを一つの舞台として完結させるためもっとも工夫をしたのが舞台装置と映像。ベーシックなコンセプトにバリエーションを加え、観る側の集中力を失わせないようにしている。その舞台装置の上で、7人の役者たちの身体が作り出す動きや、それによって生み出される造形美は感嘆を呼び起こす。加えて、役者たちが各ショートショート・シーン毎にふてふてしくマルチに役をこなすのも、観る側に思わぬ面白さと発見の楽しさを与えてくれる。

観客動員、口コミ、受賞が証明した作品

「恐怖と愉快さを同時に感じさせる不思議なファンタジー」「SF演劇のしかるべき舞台」「なぜ星新一を今知ったのか」など一般の客や、批評家、科学者などが口を揃えて賞賛した。こういった評判が追い風ともなり、2018年1月に発表された、韓国でもっとも長い歴史と高い権威を誇る東亜演劇祭で演出賞(チョン・インチョル)、舞台芸術賞(照明デザイナー)、演技賞を受賞した。東京公演の前の4月に予定されているソウル再演を待ち焦がれている人も少なくないようだ。

今まで日本で紹介されてきた韓国演劇とは一味違う、名前にふさわしい韓国ナショナル・シアターカンパニーの代表作が、星新一の母国である日本でどう受け止められるのか、とても楽しみである。

文:コ・ジュヨン(舞台芸術インディペンデントプロデューサー、日・韓翻訳者)

5月30日(木)～6月2日(日) 詳細はP14へ
シアターイースト

作:星新一
脚色・演出:チョン・インチョル
出演:韓国ナショナル・シアターカンパニー
(National Theater Company of Korea)
www.tmt-bokkochan.com



星新一 ©星ライブラリ



チョン・インチョル ©Nah Seung-yeol, provided by National Theater Company of Korea

「お気に召すまま」

作:ウィリアム・シェイクスピア
演出:熊林弘高

劇場の森で、愛について 考えてみたいなら

丹念な戯曲の読み込みと、深い演技を引き出す眼力で
成果を上げてきた、近現代シリアス家庭劇の専門家。
その新しい一歩とは。演出家・熊林弘高に訊く。

選んだのは、まさかのシェイクスピア喜劇

2016年の「かもめ」が閉幕して、ただちに、東京芸術劇場と演出家・熊林弘高は次回作の検討に入った。熊林弘高は振り返る。

「(満島)ひかりちゃん、坂口健太郎くんと何をやるかという大前提のテーマがあったので、『ロザリンドとオーランドーがいいんじゃない?』と考えて『お気に召すまま』に決めました」

ざらりと語るが、この作品の選定には、「おや?」と思う人も多いかもしれない。熊林弘高といえば、これまで、ジャン・コクトーの『おそろべき親たち』や、清水邦夫の『狂人なおもて往生をとぐ』、ユージン・オニールの『夜への長い旅路』、そしてチェーホフの『かもめ』といった、近現代のシリアスな家庭劇を好んで取り上げてきた人。ところが、選んだのは、シェイクスピアの喜劇。

「自分でも、シェイクスピアを演出するとは思っていなかった。『今度シェイクスピアを演出するんだけど、作品は何だと思う?』と周囲の人にクイズを出しても、『お気に召すまま』を的中させた人は皆無でした」。ちなみに、得票トップは『マクベス』だったそうだ。では、『お気に召すまま』のどこに魅かれたのか。

「尊敬する演出家のパトリス・シェローが、2013年に没しなければ『お気に召すまま』を演出するはずでした。彼の『お気に召すまま』のフランス語台本を担当した詩人イヴ・ボヌフォアの翻訳は、セクシュアリティや猥雑さに満ちています。「性」を前面に打ち出したその翻訳のおかげで、『お気に召すまま』の人間関係の深いところが見えてきた。『お気に召すまま』はジェンダーの問題が重要だと気づいたんです」

森を舞台に描かれたのは、愛のプリズム

『お気に召すまま』は、公爵領を追放され、アーデンの森に逃れたひと組の男女の恋物語を中心に展開する。女の名はロザリンド(満島ひかり)、男の名は



オーランドー(坂口健太郎)。追放の身となる直前、ふたりはただ一度出会って、たちまち恋に落ちる。ロザリンドは、放浪の旅の危険に備えて、男装のギャニミードとなっているので、オーランドーは、彼女に森で再会しても、それが愛する人とは気づかない。おなじみシェイクスピア喜劇の変装のドタバタと、森の中で出会うユニークな人間たちとのにぎやかなやりとりが楽しい。

「森と言っても、今でいう樹海のような恐ろしいところ。人間の獣性があらわになる場所です。シェイクスピアは、その森を舞台に、さまざまな愛のプリズムのような世界を描きました。例えば、ロザリンドは、異性愛と同性愛の間を揺れ動きます。ひと目惚れをした相手は男性のオーランドーですが、一方で、放浪の旅をするにあたって、男装を選び、自らギャニミードという偽名を使います。シェイクスピアの時代、このギャニミードという名前を聞いただけで、観客は同性愛であるということがすぐわかったそうです。一方のオーランドーは、ところかまわずロザリンドの名前を彫りつけてしまうような、想像の中に惑溺する恋の病の青年。森の中の住人には、男性同士の関係や、性病や、獣姦の言及さえある。人を愛するとはどういうことか。それを描くなら、性というものを描かずに済まないということ。やっぱりシェイクスピアはすごいと思いましたね」

「ロザリンドはとてもむずかしい役だけど、彼女にはピッタリ」と信頼を寄せる満島ひかり、「水のような存在感。でも、見えないすりガラスの向こうから、予測のつかない何かが出てくる」という坂口健太郎のオーランドーをはじめ、中嶋朋子、満島真之介、中村蒼、小林勝也、山路和弘の熊林演出経験組に、温水洋一、萩原利久、碓井将大、広岡由里子、久保酎吉、テイ龍進、YUQIの熊林演出初登場組を加えた豪華なキャストチーム。劇場の森で、愛について考えてみたいなら、迷わずこの作品を選んでほしい。

取材・文:戸塚成

7月30日(火)～8月18日(日) プレイハウス 豊橋、新潟、兵庫、熊本、北九州公演あり www.asyoulikeit.jp 詳細はHPへ
演出:熊林弘高 作:ウィリアム・シェイクスピア
出演:満島ひかり 坂口健太郎



東アジア文化都市2019豊島スペシャル事業 中国国家話劇院「リチャード三世」中国語上演(日本語字幕)
4月5日(金)～7日(日) プレイハウス 詳細はP11へ

京劇×中国現代演劇×シェイクスピアの融合

中国で最も歴史があり最多のレパートリーを誇る中国国家話劇院。ロンドンオリンピック関連事業「ワールド・シェイクスピア・フェスティバル」でロンドン・グローブ座の招聘で上演した本作は、国内演劇を常にリードし続ける演出家・王曉鷹(『蘭陵王』『霸王歌行』)による中国の伝統的な演劇の技巧や文化的要素を盛り込んだ演出が「魅惑的だ」と絶賛され、高い評価を獲得、現在に至るまで世界各地で上演が続けている。京劇独特のからっぽに近い舞台の上に、宮廷の密室やロンドン塔の牢獄、ロンドンの街角、そして血なまぐさい戦場を、本作で俳優が身一つで描き出していく。中国国家芸術院団「優秀演目賞」「優秀俳優賞(張皓越/リチャード三世)」受賞。

作:ウィリアム・シェイクスピア 演出:王曉鷹(オウ・ギョウヨウ)
出演:張皓越(チョウ・コウエツ) 涂松岩(ト・ショウガン) 田征(デン・セイ) 余南南(シャ・ナンナン)
張鑫(チョウ・キン) 李暉(リ・ヨウ) 王顯樺(オウ・コウカ) 李建鵬(リ・ケンホウ) 王力夫(オウ・リキフ)
鄒一正(スウ・イツセイ) 張志勇(チョウ・シユウ) 蔡景超(サイ・ケイチョウ) 打楽器:王佳男(オウ・ケイナン)

「K.テンペスト2019」
5月22日(水)～26日(日) シアターイースト 5月16日(木)～5月19日(日)まつもと市民芸術館 6月海外公演 詳細はP14へ



撮影:山田照

串田版・シェイクスピア幻想音楽劇

2014年、串田和美はシェイクスピアのロマンス劇「テンペスト」を、約6週間のワークショップ・創作期間を経て『K.[串田版]テンペスト』として上演しました。詩的言語の音楽性と舞台のスペクタル性が秀逸な魅力を放つこの作品を、串田は4面囲いの客席と演技エリアが融合した小空間を立ち上げ、打楽器や声など生の音楽を奏で、荒々しく、時に幻想的に、客席までも巻き込む新たな演出で上演し好評を得ました。

今回は、初演より出演する大森博史に加え、藤木孝、カムカムミニキーナの松村武、注目の新人女優の湯川ひなら新たなキャストとともに創作、6月には海外公演も控える串田和美の意欲作にどうぞご期待ください。

作:ウィリアム・シェイクスピア 演出・潤色・美術:串田和美
出演:串田和美 藤木孝 大森博史 松村武 湯川ひな 近藤隼 武居卓 細川貴司 草光純太 深沢豊
坂本慶介 飯塚直 尾引浩志 万里紗 下地尚子

モダンスイマーズ 結成20周年記念公演「ビューティフルワールド」
6月7日(金)～23日(日) シアターイースト 詳細はP15へ



蓬萊竜太の演劇体幹を鍛える劇団公演の新作

結成20周年を迎えたモダンスイマーズがシアターイーストで新作を上演する。作・演出の蓬莱竜太は、新国立劇場の『消えていくなら朝』が今年の「悲劇喜劇」賞を、パルコ劇場の『母と惑星について、および自転する女たちの記録が』2017年の鶴屋南北戯曲賞を受賞したが、その演劇体幹を鍛えているのは間違いなく劇団公演。昨年、やはりシアターイーストで『句読点三部作』を連続上演し、再演の意味や可能性を追求したあとだからこそ期待が募る。モダンスイマーズの新章を楽しみに待ちたい。

文:徳永京子

作・演出:蓬莱竜太
出演:津村知与支 小椋毅 生越千晴 古山憲太郎 西條義将(以上モダンスイマーズ) / 吉岡あきこ 成田亜佑美 / 菅原大吉
【お問合せ】劇団窓口 ヨルノハテ 070-1483-2563

COMING UP NEXT 2019.7-9 演劇・ダンス ラインナップ

7月26日(金)～28日(日) シアターイースト 芸劇dance イデビアン・クルー新作「幻想振動」	8月31日(土)～9月1日(日)予定 シアターイースト 「めにみえない みみにしたい」 作・演出:藤田貴大	9月20日(金)～9月29日(日) シアターイースト eyes plus 贅沢貧乏「ニューヒューマン(仮)」
---	--	---

5

MAY

12345678910111213141516171819202122232425262728293031

水・祝木・休金・祝土・祝日・祝月・休火水木金土日月火水木金土日月火水木金

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く
10:00～19:00

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・13日(月)～17日(金)

Concert Hall

4日(土・祝) 16:00開演

Fate/Grand Order Orchestra
Concert Perfomed by 東京都交響楽団

出演 竹本泰蔵(Cond)／東京都交響楽団／新国立劇場合唱団
曲目 Grand Order ～カルデア
炎上汚染都市:冬木
人理の光
料金 S:9,000円／A:8,000円
問合せ https://fes.fate-go.jp/inquiry/

5日(日・祝) 14:00開演

TACT FESTIVAL2019
マサト先生のミュージック・エデュケーション・
プログラム～リズム!リズム!リズム!～

出演 鈴木優人(Cond)／温水洋一(語り)＊／読売日本交響楽団
曲目 久石譲／オーケストラストーリーズ となりのトトロ＊
スティーフ・ライヒ／オーケストラのための3つの楽章
ラヴェル／ボレロ
料金 【全席指定】一般:3,500円／高校生以下:1,000円
※4歳以上入場可
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

6日(月・休) 14:00開演

東アジア文化都市2019豊島パートナーシップ事業
東吹スペシャルコンサート～日中韓の名曲を吹奏楽で～

出演 小林恵子(Cond)／東京吹奏楽団
曲目 李煥之／春節序曲
J.カーナウ／チャイニーズ・フォーク・ファンタジー
J.B.チャンス／朝鮮民謡の主題による変奏曲 ほか
料金 一般(1&2階席):4,000円／
学生席(高校生以下、1&3階席):1,500円
問合せ 東京吹奏楽団 03-5937-5205

7日(火) Closed・関係者のみ

豊島区立小・中学校 音楽鑑賞教室

10日(金) 19:00開演

「エヴァンゲリオン」ウインドシンフォニー

出演 天野正道(Cond)／エリック・ミヤシロ(Tp)／
東京佼成ウインドオーケストラ
料金 【全席指定】5,500円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

11日(土) 14:00開演

日本フィルサンデーコンサートスペシャル

出演 アレクサンドル・ラザレフ(Cond)／反田恭平(Pf)／
神尾真由子(Vn)／日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
ヴァイオリン協奏曲
バレエ組曲《白鳥の湖》より ほか
料金 S:8,000円／A:6,500円／B:6,000円／C:5,000円／
Gs(65才以上):5,000円／Ys(25才以下):1,500円
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

12日(日) 16:30開演

第68回東京六大学合唱連盟定期演奏会

出演 高嶋昌二、佐藤賢太郎、蓮沼喜文(Cond)／
明治大学グリークラブ／早稲田大学グリークラブ／
立教大学グリークラブ／法政大学アリオンコール／
東京大学音楽部合唱団コールアカデミー／
慶應義塾ワグネル／ソサエティー男声合唱団
曲目 六大学合同演奏ステージ
松下耕(谷川俊太郎 作詩)／
男声合唱とピアノのための「この星の上で」 ほか
料金 S:2,500円／A:2,000円／B:1,000円
問合せ 東京六大学合唱連盟 090-7730-5479

18日(土) 14:00開演

読売日本交響楽団
第217回土曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／岡田奏(Pf)／
読売日本交響楽団
曲目 ロルツィング／歌劇「ロシア皇帝と船大工」序曲
モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番
ブラームス／交響曲第4番
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

19日(日) 14:00開演

読売日本交響楽団
第217回日曜マチネーシリーズ

出演 セバスティアン・ヴァイグレ(Cond)／岡田奏(Pf)／
読売日本交響楽団
曲目 ロルツィング／歌劇「ロシア皇帝と船大工」序曲
モーツァルト／ピアノ協奏曲第21番
ブラームス／交響曲第4番
料金 S:7,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:4,000円
問合せ 読響チケットセンター 0570-00-4390

20日(月) Closed・関係者のみ

城西大学附属城西中学・高等学校
第47回生徒と保護者のための芸術鑑賞会

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます)……
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・＊は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱います。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

22日(水) 11:00開演

・芸劇ランチコンサート・
名曲リサイタル・サロン
第1回「清水和音 ヒアノ・リサイタル」

出演 清水和音(Pf)／八塩圭子(ナビゲーター)
曲目 “オール・ショパン・プログラム”
ショパン／即興曲 第2番
4つのマズルカ 第22-25番
バラード 第1番
ノクターン 第5番、第14番
ワルツ 第6番「子犬のワルツ」、第7番、第8番
ポロネーズ 第6番「英雄」
料金 【全席指定】2,400円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

23日(木) 12:15開演

ランチタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.132

出演 都築由理江(Org)
料金 【全席自由】500円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

24日(金) 19:00開演

NTT東日本東京吹奏楽団
第52回定期演奏会

出演 山田昌弘(Cond)／NTT東日本東京吹奏楽団
曲目 田中賢／南の空のトーマスボールⅡ《リラ》
伊藤康英／ピース、ピースと鳥たちは歌う
R.シュトラウス／楽劇「サロメ」より セツのヴェールの踊り ほか
料金 【全席指定】無料(事前申込制)
問合せ NTT東京福祉文化事業団「ゆいの会」03-6712-8803

略語表
アルト(A)／ベース(B)／バリトン(Br)／バス(Bs)／コントラバス(Cb)／チェンバロ(Cemb)／合唱(Chor)／クラリネット(Cl)／指揮者(Cond)／ユーフォニウム(Euph)／ファゴット(Fg)／フルート(Fl)／ハープ(Hp)／ホルン(Hr)／メゾソプラ(Ms)／オーボエ(Ob)／パイプオルガン(Org)／パーカッション(Per)／ピアノ(Pf)／ソプラノ(S)／サクソフォーン(Sax)／テノール(T)／トロンボーン(Tb)／ティンパニ(Timp)／トランペット(Tp)／チューバ(Tub)／ヴィオラ(Va)／チェロ(Vc)／ヴァイオリン(Vn)／ヴォーカル(Vo)

25日(土) 19:00開演

石丸幹二オーケストラコンサート2019
～ミュージカル、29年の道のり～

出演 石丸幹二(Vo)／円光寺雅彦(Cond)／
東京フィルハーモニー交響楽団
料金 S:12,000円／A:9,000円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

26日(日) 14:00開演

「ドラゴンクエスト」
ウインドオーケストラコンサート

出演 大井剛史(Cond)／東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 ドラゴンクエストⅦ、Ⅷ、Ⅸより
料金 S:4,500円／A:3,500円
問合せ キョードー東京 0570-550-799

27日(月)

パイプオルガン講座
第77回 芸劇のオルガンを弾こう!

時間 10:00／11:00／12:00[ルネサンス&バロック・オルガン]
13:30／14:30／15:30[モダン・オルガン]
講師 新山恵理、平井靖子、川越聡子(東京芸術劇場副オルガニスト)
料金 各回2,000円(定員各回6名・事前申込制)
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

28日(火) 19:00開演

東京イギンコンサート
これはすごい“式典ミュージック”

出演 齊藤一郎(Cond)／東京交響楽団
曲目 リムスキー＝コルサコフ／「ムラダ」貴族たちの行進
ウォルトン／「王冠」
芝祐靖／親愛 ほか
料金 S:8,000円／A:6,000円
問合せ イギン広報室 03-5495-1911

29日(水) 14:00開演

キャンノマーケティングジャパングループ Presents
ウィーン少年合唱団

出演 マノ・カニン(Cond)／ウィーン少年合唱団
曲目 オルフ／《カルミナ・ブラーナ》より「おお運命の女神よ」
滝廉太郎／荒城の月
山本正美(皇后陛下御作詞)／ねむの木の子守歌 ほか
料金 S:7,000円／A:5,500円／B:4,000円
問合せ ジャパン・アーツびあ 03-5774-3040

31日(金) 19:00開演

ブランデンブルグ国立管弦楽団
フランクフルト

出演 浮ヶ谷孝夫(Cond)／福岡洸太郎(Pf)／
ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルト
曲目 ベートーヴェン／プロメテウスの創造物 序曲
ブラームス／ピアノ協奏曲第2番、交響曲第1番
料金 S:11,000円／A:9,000円／B:5,000円
問合せ Ro-Onチケット 047-365-9960

Playhouse

4日(土・祝)～6日(月・休) 16:00開演

TACT FESTIVAL2019
1927「獣よ、子供よ、街に出よ!」
英語上演・日本語字幕

作・演出 スザンヌ・アンドレード
出演 ジュヌビエーブ・ダン／ロウィーナ・レノン／
フェリシティ・スパークス／ジェームス・アディ(管理人の声)
料金 大人:3,500円／U18(高校生以下)*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

9日(木)～12日(日)

ローザス
「A Love Supreme ～至上の愛」

監督 サルヴァ・サンチス／アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
音楽 ジョン・コルトレーン(至上の愛)
出演 ローザス
料金 S:6,000円／A:5,000円／65歳以上(S席)*:5,500円／
25歳以下(A席)*:3,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

5月	9木	10金	11土	12日
15:00			●	●
19:30	●	●	●	●

18日(土)・19日(日) 15:00開演

ローザス「我ら人生のただ中であって／
バッハ無伴奏チェロ組曲」

監督 アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
音楽 J.S.バッハ／無伴奏チェロ組曲
演奏 ジャン＝ギャン・ケラス(Vc) 出演 ローザス
料金 S:6,000円／A:5,000円／65歳以上(S席)*:5,500円／
25歳以下(A席)*:3,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

25日(土)～6月9日(日)

「BACKBEAT」

作 イアン・ソフトリー／スティヴン・ジェフリーズ
演出 石丸さち子
出演 戸塚祥太／加藤和樹／辰巳雄大／JUON／上口耕平／夏子 ほか
料金 【全席指定】S:9,800円／A:7,000円
問合せ チケットスペース 03-3234-9999

5月	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日
13:00	●	●						●	●	●	●	●	●	●	●	●
14:00		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17:30		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

Theatre East

2日(木・休)～6日(月・休)

東京マハロ第22回公演
「余白を埋める」ーエリカな人々2019ー

脚本・演出 矢島弘一
出演 お宮の松／内谷正文／福澤重文／福田ゆみ／彩木りさ子 ほか
料金 【全席指定】前売:5,500円／当日:6,000円
問合せ Age Global Networks 03-3587-2120

8日(水)・9日(木)

演劇
「さようなら 私たちのララバイ」

作 ヒューイ・ロックフィールド
演出 伊藤清／石崎千穂
出演 斎藤千寛／丸岡騎夫／瀬戸口ミサカ／渡辺正治／樋口紀子 ほか
料金 【全席自由】3,000円
問合せ サンクアソシエイツ 03-3505-3104

11日(土)～12日(日)

アキコ・カンダ
ダンスカンパニー公演
「時は流れ～ピアノソラを踊る～」

構成・演出 市川紅美 監修 アキコ・カンダ
出演 アキコ・カンダダンスカンパニー
料金 【全席指定】5,400円
問合せ アキコ・カンダモダンダンススタジオ 048-645-6551

18日(土)～19日(日)

蘭このみスペイン舞踊公演
「フラメンコとジャズ」

演出・構成・演出 蘭このみ 音楽 染谷ひろし
出演 松岡和子 演出・音色・美術 串田和美
出演 串田和美／藤木孝／大森博史／松村武／湯川ひな／
近藤隼／武居卓／細川貴司／草光純太／深沢豊／
坂本慶介／飯塚直／尾引浩志／万里紗／下地尚子
料金 【全席指定】5,500円
問合せ アートスペース蘭このみ 04-2939-2358

22日(水)～26日(日)

「K.テンペスト2019」

作 ウィリアム・シェイクスピア
監訳 松岡和子 演出・音色・美術 串田和美
出演 串田和美／藤木孝／大森博史／松村武／湯川ひな／
近藤隼／武居卓／細川貴司／草光純太／深沢豊／
坂本慶介／飯塚直／尾引浩志／万里紗／下地尚子
料金 【全席自由】一般:5,500円／当日6,000円／
U25…前売当日:3,000円／U18…前売当日:2,000円
問合せ まつもとと市民芸術館チケットセンター 0263-33-2200

30日(木)～6月2日(日)

「ボッコちゃん
～星新一 ショートショートセレクション～」
韓国語上演・日本語字幕

原作 星新一
監訳・演出 チョン・インチョル
出演 韓国ナショナル・シアターカンパニー
料金 【全席指定】一般:4,000円／65歳以上*:3,000円／
25歳以下*:2,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre West

2日(木・休)～6日(月・休)

「天狗 ON THE RADIO」

作・演出 大浜直樹
出演 緒月遠麻／池田努／藤田奈那／
モロ師岡 ほか
料金 【全席指定】S:7,900円／A:5,900円
問合せ ものづくり計画 050-5316-6399

9日(木)～12日(日)

一人ミュージカル
「壁の中の妖精」

作・演出 福田善之 監修 上田亨
出演 春風ひとみ
料金 【全席指定】一般:6,500円／
シニア:5,500円／U25:4,500円
問合せ Pカンパニー 03-6808-5306

18日(土) 19:00開演

《嘶小屋in池袋》
皐月の独り看板
第一夜 林家さく庵

出演 林家さく ほか
料金 【全席指定】
一般:3,600円／U-25:2,000円
問合せ いがぐみ 03-6909-4101

20日(月) 19:00開演

《嘶小屋in池袋》皐月の独り看板
第二夜 林家正蔵「双蝶々」通し

出演 林家正蔵
料金 【全席指定】一般:3,600円／U-25:2,000円
問合せ いがぐみ 03-6909-4101

21日(火) 19:00開演

三遊亭兼好 独演会
「兼好庵 其の六」

出演 三遊亭兼好
料金 【全席指定】3,600円
問合せ 夢空間 03-5785-0380

24日(金)～6月2日(日)

恋と暴動の悪い芝居15周年記念新作二本立て本公演
「野性の恋」/「暴動のあと、さみしいポップニューワールド」

作・演出 山崎彬 音楽 岡田太郎
出演 東直輝／植田順平／湖みか／川人早貴／山崎彬 ほか
料金 【全席指定】一般:4,000円／U25:3,500円／高校生以下:2,000円
当日:500円増
問合せ 悪い芝居 090-1441-1481

6 JUN▶

123456789101112131415161718192021222324252627282930

土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火水木金土日月火

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

【休館日を除く
10:00～19:00】

東京芸術劇場
ホームページ

www.geigeki.jp

休館日・17日(月)・18日(火)

Concert Hall

1日(土) 18:00開演

BOX

青山学院管弦楽団 第114回定期演奏会

出演 富平恭平 (Cond) / 青山学院管弦楽団
曲目 ズッペ／喜歌劇「詩人と農夫」序曲
レスピーギ／バレエ音楽「風変わりな店」組曲
ブラームス／交響曲第2番
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 青山学院管弦楽団事務局 080-4002-7118

2日(日) 14:00開演

BOX

日本フィル第227回サンデーコンサート

出演 西本智実 (Cond) / 前橋君子 (Vn) /
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリツィオーソ
サラサーテ／ツィゴイネルワイゼン
ベートーヴェン／交響曲第7番 ほか
料金 S:8,000円／A:6,500円／B:6,000円／C:5,000円／
Ys:1,500円／Gs:5,000円
問合せ 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

5日(水) Closed・関係者のみ

攻玉杜中学校・高等学校
芸術鑑賞 東京交響楽団演奏会

8日(土) 14:00開演

BOX

東京都交響楽団 第879回定期演奏会

出演 アレホ・ベレス (Cond) / 長尾洋史 (Pf) /
加藤のぞみ (Ms) / 東京都交響楽団
曲目 ストラヴィンスキー／バレエ音楽《ペトルーシュカ》(1947年版)
ファリャ／バレエ音楽《三角帽子》(全曲)
料金 S:6,500円／A:5,500円／B:4,500円／C:3,500円／
Ex:2,500円
問合せ 都響ガイド 0570-056-057

9日(日) 14:00開演

BOX

学習院輔仁会音楽部管弦楽団
第58回定期演奏会

出演 中田延亮 (Cond) / 山内悠里佳 (Hp) /
武田麻里江 (Pf/Celst) / 学習院輔仁会音楽部管弦楽団
曲目 シベリウス／交響詩「フィンランディア」
グリーグ／組曲「ペールギュント」より抜粋
ショスタコヴィチ／交響曲第5番
料金 S:1,500円／A:1,000円／B:500円
問合せ 学習院輔仁会音楽部広報担当 090-3801-3619

15日(土) 14:00開演

BOX

～東京芸術劇場シリーズ～
東京佼成ウインドオーケストラ
第144回定期演奏会

出演 大井剛史 (Cond) / 久保和範 (B-Br) /
東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 真島俊夫／鳳凰が舞う
黛敏郎／トーンブレロマス55
ジェイガー／壁
ネリヘル／シンフォニック・レクイエム
料金 S:6,000円／A:4,500円／B:3,500円／C:1,500円／
U-25:2,000円
問合せ 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

16日(日) 14:30開演

陸上自衛隊中央音楽隊
第157回定期演奏会

出演 一等陸佐 樋口孝博 (Cond) / 陸上自衛隊中央音楽隊
曲目 西村朗／秘儀Ⅶ「不死鳥」
ストラヴィンスキー／バレエ音楽「火の鳥」(1919年版)
バーンス／交響曲第5番「フェニックス」
料金 【全席指定】無料(要事前応募、抽選)
問合せ 陸上自衛隊中央音楽隊演奏班 048-460-1711 (内3622)

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケット
取扱いのある公演(取扱いのない券種もございます).....
・プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。
・原則未就学児のご入場はお断りしています。
・＊は劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱います。
年齢割引チケットは枚数限定・要証明書。

19日(水) 11:00開演

BOX

芸劇ブランチコンサート ～清水和音の名曲ラウンジ～
第19回「ドヴォルザークの楽しみ」

出演 伊藤亮太郎、大江馨 (Vn) / 佐々木亮 (Va) /
向山佳絵子 (Vc) / 清水和音 (Pf)
曲目 ドヴォルザーク／ユーモレスク
森の静けさ、スラヴ舞曲 ホ短調op.72-2
ピアノ五重奏曲 第2番
料金 【全席指定】2,400円
問合せ サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

20日(木) 19:30開演

BOX

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
Vol.27

出演 小林英之 (Org)
料金 【全席指定】1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

21日(金) 19:00開演

BOX

西本智実 指揮／「惑星」

出演 西本智実 (Cond) / イルミナート合唱団 /
イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
曲目 ホルスト／組曲「惑星」 ほか
料金 S:7,000円／A:6,500円／B:6,000円
問合せ MN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

19日(水)・20日(木) 19:00開演

いけいけ池袋らくご2days

出演 19日 三遊亭白鳥／立川談笑／三遊亭兼好／林家さく庵
20日 桃月庵白酒／三遊亭萬橘／春風亭一之輔／神田松之丞
料金 【全席指定】4,100円
問合せ 夢空間 03-5785-0380

21日(金) 19:00開演

古典こもり 滝川鯉昇、柳家喬太郎 二人会

出演 瀧川鯉昇／柳家喬太郎
料金 【全席指定】3,700円
問合せ 夢空間 03-5785-0380

27日(木)～7月7日(日)

BOX

響きあうアジア2019
「プラタナー：憑依のポートレート」

原作 ウェット・ヘーマムーン
脚本・演出 岡田利規
料金 【全席指定】前売:4,000円／当日:4,500円／29歳以下:2,500円／大学生以下:1,500円／障がい者:1,500円 ほか
問合せ precog 03-6825-1223

21日(金)・22日(土)

東京都立総合芸術高等学校
舞台表現科 創立10周年記念
第8回定期公演 演劇専攻

料金 入場無料(事前予約)
問合せ 東京都立総合芸術高等学校舞台表現科 03-3354-5288

22日(土) 19:00開演

ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
第227回定期演奏会

出演 川本貢司 (Cond) /
慶應義塾ワグネル・ソサイエティー・オーケストラ
曲目 ベートーヴェン／レオノーレ序曲第3番
チャイコフスキー／幻想序曲「ロミオとジュリエット」
ラフマニノフ／交響曲第3番
料金 S:2,000円／A:1,500円／B:1,000円
問合せ 2019年度定期演奏会マネージャー 070-6477-1051

23日(日) 13:20開演

BOX

デアクライス・ブラスオルケスター
第10回定期演奏会

出演 佐川聖二 (Cond) / 須川展也 (Sax) /
デアクライネス・ブラスオルケスター
曲目 シェヘラザード
交響的序曲
アリオソとプレスト～アルト・サクソフォン・ソロとバンドのための～
料金 【全席指定】500円
問合せ 演奏会事務局 090-6799-4212(20時以降)

26日(水) 19:00開演

日本テレビ「読響シンフォニックライブ」
公開録画

出演 原田慶太楼 (Cond) / コリヤ・ブラッハー (Vn) /
読売日本交響楽団
曲目 ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
料金 【全席指定】無料(要事前応募)
問合せ 日本テレビ放送網 03-6215-1111

29日(土) 19:00開演

BOX

立教大学交響楽団東京演奏会

出演 山上純司 (Cond) / 立教大学交響楽団
曲目 ドボルザーク／交響曲第8番
ポロティン／歌劇『イーゴリ公』より
「ダッタン人の娘たちの踊り」「ダッタン人の踊り」
料金 S:1,500円／A:1,000円
問合せ 立教大学交響楽団 080-6501-0137

30日(日) 14:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団
第125回定期演奏会

出演 管我大介 (Cond) / 清水高師 (Vn) /
アントン・ニコレスク (Vc) / 東京ニューシティ管弦楽団
曲目 J.S.バッハ／管弦楽組曲第3番より「エア」「ガヴォット」(マラー編)
ブラームス／ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番「英雄」
料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円
問合せ 事務局チケットデスク 03-5933-3266

Playhouse

～9日(日)

BOX

「BACKBEAT」

作 イアン・ソフトリー／スティーヴン・ジェフリーズ
演出 石丸さち子
出演 戸塚祥太／加藤和樹／辰巳雄大／JUON／
上口耕平／夏子 ほか
料金 【全席指定】S:9,800円／A:7,000円
問合せ チケットスペース 03-3234-9999

6月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日
13:00	●	●						●	●
14:00			●	●	●	休 演			
17:30	●						●		
18:30					●			●	

11日(火)～16日(日)

BOX

中華人民共和国建国70周年記念／日中文化交流協定締結40周年記念
京劇西遊記2019
～旅のはじまり 上海京劇院日本公演～

構成・演出・主演 孫悟空役:巖慶谷 (イエン・チンゲー)
出演 玄奘差三蔵:季春 (リー・チュン) /
観音菩薩:田慧 (ティエン・フイ) ほか上海京劇院
料金 【全席指定】8,800円
問合せ 京劇公演事務局(楽戯舎) 03-5281-8066

6月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日
11:30					●	●
13:30		●	●	●		
15:30					●	●
19:00	●					

23日(日) 18:00開演

東京都立総合芸術高等学校
舞台表現科 創立10周年記念
第8回定期公演 舞踊専攻

料金 入場無料(事前申込)
問合せ 東京都立総合芸術高等学校舞台表現科 03-3354-5288

30日(日)～7月3日(水)

BOX

響きあうアジア2019
アビチャップン・
ウィーラセタケン
「フィーバー・ルーム」

料金 【整理番号付自由席】前売:4,000円／当日:4,500円 ほか
(推奨年齢10歳以上)
問合せ PARC - 国際舞台芸術交流センター 03-5724-4660

6月	30 日	1 月	2 火	3 水
12:30	●	●	●	●
16:00	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●

Theatre East

～2日(日)

BOX

「ボッコちゃん
～星新一 ショートショートセレクション～」

原作 星新一
脚色・演出 チョン・インチョル
出演 韓国ナショナル・シアターカンパニー
料金 【全席指定】一般:4,000円／65歳以上*:3,000円／
25歳以下*:2,000円／高校生以下*:1,000円
問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

6月	1 土	2 日
14:00	●	●
19:00	●	●

7日(金)～23日(日)

BOX

モダンスマイズ 結成20周年記念公演
「ビューティフルワールド」

作・演出 蓬萊竜太
出演 津村知与支、小椋敬、生越千晴、古山憲太郎、西條義将(以上モダンスマイズ) /
吉岡あきこ、成田亜佑美 / 菅原大吉
料金 一般:3,000円／U25:2,500円／高校生以下:1,000円
問合せ ヨルノハテ 070-1483-2563

6月	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日
15:00		★	●			●			●	●	休 館		●	▲		●	●
19:00	★			●	●	●							▲	●			

▲=ビデオ撮影のため、場内にカメラが設置されます。
★=アフターイベント

Theatre West

～2日(日)

恋と暴動の悪い芝居15周年記念新作二本立て本公演
「野性の恋」/「暴動のあと。さみしいポップニューワールド」

作・演出 山崎彬 監・演出 岡田太郎
出演 東直輝／植田順平／潮みか／川人早貴／山崎彬 ほか
料金 【全席指定】一般:4,000円／U25:3,500円／
高校生以下:2,000円／当日:500円増
問合せ 悪い芝居 090-1441-1481

6月	1 土	2 日
13:00	◇	◆
14:00		
18:00	◆	
19:00		

◆＝野性の恋
◇＝暴動のあと、さみしい
ポップニューワールド

6日(木)～16日(日)

「SMOKE」

脚本・演出 菅野こうめい
出演 石井一孝／藤岡正明／彩歌真央
料金 【全席指定】8,800円
問合せ atlas 03-6279-0545

6月	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日
13:00			●							●	
14:00				●			休 演		●		●
18:00										●	
19:00	●	●				●	●				

23日(日) 14:00開演

BOX

《嘶小屋in池袋》番外編
水無月の独り看板
神田春陽「髪結新三」

料金 【全席指定】一般:3,000円／U-25:2,000円
問合せ いがぐみ 03-6909-4101

28日(金)～7月7日(日)

文学座公演
「ガラスの動物園」

作 テネシー・ウィリアムズ
訳 小田島恒志
演出 高橋正徳
出演 塩田朋子／永宝千晶／亀田佳明／池田倫太郎
料金 【全席指定】前売:6,000円／夜割(6/28・7/1):4,000円／ユースチケット:3,800円
問合せ 文学座企画事業部 03-3351-7265

6月	28 金	29 土	30 日	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日
13:00		●		●	●	●	●	●	●	●
13:30										
18:00		●								
18:30	●			●					●	

Gallery 1 (5F)			
4	3日(水)～7日(日) 無料 バスケットリージャパン 2019年展 問合せ 神 03-3629-6469	11日(木)～14日(日) 無料 アルファネオ創立15周年記念展 Art Selection -美の原点- 問合せ アルファネオ 03-3234-3902	16日(火)～21日(日) 無料 Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画 公募 (日本の美しい自然) 問合せ 元浜 03-3970-7566
			25日(木)～27日(土) 無料 ヴォーグキルト塾 第4回升井紀子クラス作品展 問合せ ヴォーグキルト塾 03-3383-0613
5	4日(土・祝)～6日(月・休) 有料 TACT FESTIVAL2019 ベビー・ミュージックサロン 料金 未就学児:500円/小学生以上:2,000円 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	8日(水)～12日(日) 無料 2019 / 日中書法名家交流展 問合せ 菅原 03-3462-5251	18日(土)～22日(水) 無料 池袋回遊派美術館 問合せ IAG事務局(JIAN) 03-6805-6365
			24日(金)～29日(水) 無料 IAG AWARDS 2019 問合せ IAG事務局(JIAN) 03-6805-6365
6	4日(火)～9日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第10回monochrome展 問合せ ふたばの街 futabanomachi@tiara.ocn.ne.jp	11日(火)～16日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第48回鳴鶴流天溪会書道展 問合せ 川村 090-8720-4872	21日(金)～23日(日) 無料 欧風花インスティテュート 30周年記念作品展 問合せ 欧風花インスティテュート事務局 03-6412-8734
			25日(火)～30日(日) 無料 第7回心のアート展 問合せ 東京精神科病院協会 042-352-0541
Gallery 2 (5F)			
4	16日(火)～21日(日) 無料 Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画 公募 (日本の美しい自然) 問合せ 元浜 03-3970-7566		
5	9日(木)～12日(日) 無料 国際交流公募展 問合せ 池村 042-726-9209	18日(土)～29日(水) 無料 An Awakening Photography(仮) 問合せ IAG事務局(JIAN) 03-6805-6365	31日(金)～6月2日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第43回 日藝書展 問合せ 山崎 04-7129-2185
6	4日(火)～9日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第10回monochrome展 問合せ ふたばの街 futabanomachi@tiara.ocn.ne.jp	11日(火)～16日(日) 無料 Gallery 1・2同時開催 第48回鳴鶴流天溪会書道展 問合せ 川村 090-8720-4872	22日(土)～24日(月) 無料 青展 問合せ 小澤 090-7202-4101
Atelier East (B1F)			
4	1日(月)～7日(日) 無料 第3回全国平成水墨画小品展 問合せ 千葉 048-463-0467 / 080-5090-0467	10日(水)～14日(日) 無料 中村光江一門 能面展 問合せ 中村 080-5355-2559 / 075-551-6320	16日(火)～21日(日) 無料 Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画 公募 (日本の美しい自然) 問合せ 元浜 03-3970-7566
			27日(土)～30日(火・休) 無料 第九回雑司が谷デジカメクラブ 作品展 問合せ 上條 03-3918-3282
5	4日(土・祝)～6日(月・休) 有料 TACT FESTIVAL2019 ひびのこつえプロデュース(いきものプローチ作り) 料金 100円 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	7日(火)～12日(日) 無料 都展・第2回選抜展 問合せ 萩原 090-6199-5371 / 03-3978-3681	18日(土)～23日(水) 無料 NAF展 問合せ 藤島 090-8591-1861
			24日(金)～26日(日) 無料 造形スタジオ・バル 35周年記念作品展 問合せ 長 03-3989-8608 / 090-8805-3973
6	3日(月)～9日(日) 無料 La voix de lapis 日本画展 問合せ 青木 03-5966-5267	10日(月)～16日(日) 無料 月の会絵画展 問合せ 中村 03-3961-6876	19日(水)～23日(日) 無料 第26回 翠耀会展(日本画) 問合せ 福島 03-3919-8138
			25日(火)～30日(日) 無料 法政大学 六月展 問合せ 一ノ瀬 080-5543-6431
Atelier West (B1F)			
4	1日(月)～7日(日) 無料 SEISU4人展 問合せ 米谷 090-8566-7138	9日(火)～14日(日) 無料 現代写真研究所入江ゼミ「共生」 問合せ 平山 090-7004-2941	16日(火)～21日(日) 無料 Gallery 1・2 Atelier East-West同時開催 水墨画・水彩画 公募 (日本の美しい自然) 問合せ 元浜 03-3970-7566
			23日(火)～26日(金) 無料 第20回 遊彩会展(日本画) 問合せ 多々良 03-3923-5591
5	4日(土・祝)～6日(月・休) 無料 TACT FESTIVAL2019 ゆるゆる休憩所 モモンガ・ハウス 問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296	7日(火)～12日(日) 無料 第九回 豊彩会展(日本画) 問合せ 高橋(豊彩会事務局) 03-3913-3088	18日(土)～21日(火) 無料 第18回清泉会・清光会展 問合せ 文字 03-5950-1038
			22日(水)～27日(月) 無料 小熊秀雄小品と 池袋モンパルナスの会会員展 問合せ 小池 03-3971-6965
6	3日(月)～9日(日) 無料 矢澤利彦 油彩 旅紀行 問合せ 矢澤 03-5951-6908 / 080-1357-3162	10日(月)～16日(日) 無料 第25回みちくさクラブ写真展 問合せ 松尾 090-5764-8322	19日(水)～23日(日) 無料 啄葉会展(油彩画) 問合せ 青木 03-3934-1110
			24日(月)～30日(日) 無料 青森の銘木「樹幸」の世界 問合せ 木工ショップ マルル 八木 090-4833-9229

第14回 池袋モンパルナス回遊美術館

池袋アートギャザリング Presents IAG AWARDS 2019 / 池袋回遊派美術展 / An Awakening Photography(仮)

5月18日(土)～29日(水) ギャラリー1・2

無料

詳細はP17へ



池袋から世界へ。新しい才能の発掘に参加しよう！

"街のどこもが美術館"をテーマに開催される「池袋モンパルナス回遊美術館」。

そのメイン企画として、池袋の街とアーティストをつなぐ池袋アートギャザリング(IAG)が企画運営する公募展「IAG AWARDS」を中心とする3展示があります。

ギャラリー1では、会期前半(18～22日)に、過去のIAG AWARDS入選者を中心とする「池袋回遊派美術展」、会期後半(24～29日)に「IAG AWARDS 2019」を開催。会期中、さらなる審査により、審査員が選ぶ「IAG賞」ほか、「豊島区長賞」や池袋エリアのギャラリーによる「池袋モンパルナス各ギャラリー賞」、来場者投票による「オーディエンス賞」を決定します！

また、ギャラリー2では、IAG審査員の一人で写真家の横浜美術大学教授 三橋純氏がキュレーションする写真表現をメインテーマとした展示「An Awakening Photography(仮)」(18～29日)も開催予定！

【お問合せ】IAG事務局(JIAN) 03-6805-6365
<http://www.kaiyu-art.net/>

芸劇+まちがく

6月・9月・12月・2020年3月(開催予定) アル・テアトロ(2階)

有料

詳細はHPへ



人・文化・地域を繋ぐ街づくりについて考えよう

2018年1月より開催している、文化を軸にした地域の在り方や街づくりについて考えるフォーラム「芸劇+まちがく」。

アートが持つポテンシャルを活用した街づくりのパイオニアである北川フラム氏をモデレーターに迎え、アート、文学、演劇、音楽、建築等を切り口に、テーマに即したゲストをお招きし、参加者の皆様と一緒に、これからの文化と街づくりの関係について考えていきます。美味しい食事と飲み物とともに、人・文化・地域を繋ぐ街づくりについてゆっくりと考え、語り合う、充実の時間をお過ごしいただけます。

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

平成31年度アーツアカデミー 東京芸術劇場 プロフェッショナル人材養成レクチャー

シアター・コーディネーター養成講座(劇場ツアー編)

6月～8月(全10回予定) 東京芸術劇場内

無料

詳細はHPへ

平成30年度に引き続き、〈劇場ツアー編〉のシアター・コーディネーター2期生を募集いたします。

芸劇を広く紹介し、公共劇場としての役割を最大限發揮する、開かれた劇場にするべく、劇場の役割とポテンシャルを共有するプログラムを生み出す人材を育成します。

「劇場ツアー編」は東京芸術劇場についての歴史、劇場の作り、特徴などを学び、最後にはグループで「劇場ツアー」を作って模擬ツアーまで実施する講座です。

プログラムを開発するプランナー、教育的視点を持ったエドューケーター、運営に携わるマネージャー、企画やエピソードを横断的に考察し、工夫するドラマターグ、ツアーガイドを務めるファシリテーターなどの資質を活用できる人を募集いたします。

募集期間：2019年4月3日(水)～5月8日(水) 監修・講師：多和田真太良(玉川大学芸術学部パフォーミング・アーツ学科助教)

講師：高秋宏(東京芸術劇場 副館長) 鈴木順子(東京芸術劇場 事業企画課長) 白神久吉(東京芸術劇場 舞台管理担当課長) 石丸耕一(東京芸術劇場 舞台管理担当係長)

【お問合せ】東京芸術劇場 人材育成担当 03-5391-2116

インタビュー

東京芸術劇場 芸術監督

野田 秀 樹



「東京演劇道場」、4月より本格始動

俳優養成の場であり、演劇をつくりたい人たちが出会うプラットフォームに。

野田秀樹の中で育っていた問題意識と、外側に増えてきた刺激が、ひとつになって動き出した――。

「東京演劇道場」は、そう言っていプロジェクトだろう。

NODA・MAPで取り組んできたアンサンブルの手応え。

東京芸術劇場で開催してきた俳優向けワークショップ。

芸劇eyesや多摩美術大学などでの若い世代との交流。

近年の劇団やプロデュース公演の変化。

それらを通して生まれた責任感や危機感が、有名無名を問わずオーディションで選んだメンバーを積極的な舞台俳優に養成する活動につながろうとしている。試行しながら決めていくことも多いようだが、前例のない挑戦は遂にスタート。1月25日の会見から野田のヴィジョンを聞いた。

時間をかけたWS形式のオーディション

野田がプロジェクトの構想を発表したのが2018年6月。9月1日に募集を開始し、11月10日の締め切りまでに、全都道府県から約1,700名の応募があった。厳正な書類審査を実施し、書類審査に合格した300名が第一次オー

ディション、そこからさらに120名が第二次オーディションに進み、最終オーディションを経て、正式メンバーに登録されたのは60名となった。内訳は男性28名、女性32名。年齢は18歳から49歳。演技経験ゼロの人も長いキャリアを持つ人も、また、俳優志望のみならず演出家志望者も混じる。

「応募者の数には驚きました。そんなに“迷える子羊”がいるのかと。でも時間の制約もありますから、全員には会えない。書類で落とさざるを得なかった1400名には本当に申し訳ない気持ちで一杯ですが、第一次オーディション以降はワークショップ形式を取って合計5日間かけ、かなり念入りにやったつもりです。選考は、自分だけだどうしても趣味が偏るので、ノゾエ征爾さんや柴幸男さん、熊林弘高さんらの演出家、黒田育世さんや井手茂太さん、近藤良平さんらダンスの方たちにも審査に協力してもらって、もちろん最終的には自分の責任で選びましたけど、いろいろな意見をもらって決めました。熊林さんが執拗に推す人がいて、私としては可否ストレスだったんですが、彼がそこまで言うのは何かあるのかもしれないと思って採用し、東京キャラバンのワークショップの時に来てもらったら、すごく良かった。やはり人の意見を大切にしてくれていたということが早くもありました(笑)。ただ基準はそれぞれ違っても“この人、いいね”というのは、ほとんど意見が揃いましたね」

当初の予定より多い選考人数になったことからわかるように、手応えは大いにあったという。

「オーディションでやってもらったのは、例えば、最近の役者は、創作で一番大切な批評性を失っている気がするので、こちらが出した3つの単語からひとつを選んで、批評精神をもってそれを表現してとか。あとは俳句を持ってきて、5、6人のグループで表現してくださいといった課題です。非常に面白い役者さんが集まってくれましたよ。やる前は、20代とか若いほうがいいなと思っていましたが、おもしろい人を選んでいくと30代が中心になりましたね」

私がやってきた方法はすべて伝える

今後は、野田を含めた演出家の指導でワークショップを開き、そこに参加してもらいながら、メンバーによる公演も視野に入れている。

「ワークショップをやるばかりで先々の目標がないのもどうかということで、来年、あるいは再来年を目指して、公演を打てる形になっていけばいいと思います。ただ、こればかりは能力次第というところもありますから、今から明言はできません。やるとしたら、自分の過去の戯曲が良いと考えてはいますが。というのは、私の若い時の作品は身体性と非常につながりが強いものが多い。それを身体が動く若い人たちにやってほしいと思いますし、今の日本の芝居全体をよく知っているわけではないんですけど、身体性の方向よりも、言葉の力というか、日常的な会話で進められているものが多い。演劇にはそうではないものもあるということを知ってもらい意味でも、若い時に書いた戯曲を使いたいと思ってます。その先にはもしかしたら、自分の新作をやってもらうこともある気がします。

もちろん演出家である立場としては、興味があるのは作品をつくる方向ですが、それにあたっては、集まった人たちが身体性に関する共通の文法を持っていないといけない。そこを伝えていくのがこの道場の大事な役割ということです。舞台の上に垂直に立つとはどういうことか。役者の立ち方で空間がどう変わっていくか。それらを知り、できるようになるのは、作品づくりとは別にやっておかなければならない課題です。そのためには、今まで私がやってきた方法はすべて伝えようと思っています。ただ、私のやり方だけがすべてではないですし、役者によっては、僕のやり方とは違うところで輝く人もいるはずなので、その場合は他の演出家さんのところで活躍してもらえば良いでしょう」

東京演劇道場が目指すものとは

ところで、東京演劇道場というネーミングは、ポスター・ちらしを手がけたグラフィックデザイナーの佐野研二郎氏との会話で出てきたものだという。



「その名前が出てきた途端、一瞬にして自分もやりたいことがわかった気がしてありがたかったです。学校よりももう少し自主性があるというか。教える人のことも“先生”ではなく“師範”と呼んだり、講師の代理を務める人を“師範代”と呼ぶような遊び心も、パツと浮かびました。また、これは冗談でもないんですが“道場破り”があってもいいなと思っているんです。チャット話をしたら興味を示してくれたのでお名前を出しますけど、白石加代子さんが道場破りに来たら、道場生たちの間で何が始まるだろう、という展開があったらおもしろいですよね(笑)。

メンバーになった人たちには最初に伝えましたが、「東京演劇道場」は、俳優を養成するという目的がありつつ、基本的に演劇のプラットフォーム、つまり、演劇をやりたい人たちが出会う場所になってほしいと私は考えているんです。もちろん私、野田秀樹と出会うこともあるけれども、講師を依頼する別の演出家さんに出会うこともあるでしょうし、道場に集った人たちが出会ったことで、彼ら同士の創作が始まっていい。自分たちだけでもやれるぐらいのクオリティを持った人を選んだつもりなので、少し動きだしたら背中を押すやり方もありますね。道場生の人たちはここを使えますよ、という具体的な場所を差し出すのも、劇場がこういうことをする意味ですから」

俳優の底上げ、公共劇場の役割、集団創作の価値など、野田が投げた小さな石の水紋は、どこまで広がるか。その行方を丁寧に見つめていきたい。

構成・文:徳永京子
撮影:三浦一喜

野田秀樹 HIDEKI NODA

劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督、多摩美術大学教授。92年に「劇団 夢の遊戯社」を解散後、ロンドンへ留学。帰国後の93年に演劇企画製作会社「NODA・MAP」を設立。以来『キル』『赤鬼』『パンドラの鐘』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エック』『逆鱗』『足跡姫』『One Green Bottle』など話題作を次々と発表。モーツァルト歌劇『フィガロの結婚-庭師は見た!-』等、オペラの演出も手がけるほか、海外の俳優やスタッフとの共同制作による英国版『One Green Bottle』を東京、韓国、ロンドン、ルーマニアで上演し大きな反響を得る。演劇界の旗手として枠を超えた精力的な創作活動を行う。2015年よりブラジル、東北、東京、京都、などで、国内外の多種多様な表現者達と新たな幻想的な表現を創出する文化サーカス「東京キャラバン」を実施。2018年NODA・MAP第22回公演『眞作 桜の森の満開の下』を東京、大阪、北九州、パリで上演し好評を博す。2019年4月5日より、松竹シネマ歌舞伎『野田版 桜の森の満開の下』が全国で上映決定。2019年秋には新作公演を予定。世界を駆け巡り、意欲的に活動を展開している。

